

ガバナンスコードチェックシート

| 項目 | | チェック | 点検等 |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------------------|--|
| 私立大学の自主性・自律性（特色ある運営）の尊重 | | | |
| 1-1 | 建学の精神と学園の理念 | <input checked="" type="checkbox"/> | 建学の精神に則り、学園としての役割を確認し、経営方針や人材育成に取り組んでいる。 |
| 1-2 | 教育と研究の目的 | <input checked="" type="checkbox"/> | 学長ガバナンスのもと、各学部適切に運用されている。 |
| | 中期的なビジョン策定と具体的な取り組みについて | <input checked="" type="checkbox"/> | 中長期的なビジョンを担当する部署として、法人本部に経営企画部を設置し、大学と連携を強化している。 |
| 安定性・継続性（学校法人運営の基本） | | | |
| 2-1 | 理事会 | 理事会の役割 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切に運用されている。 |
| 2-2 | 理事 | 理事の責務（役割・職務・監督責任） | <input checked="" type="checkbox"/> 適切に運用されている。 |
| 2-3 | 監事 | 監事の責務（役割・職務範囲） | <input checked="" type="checkbox"/> 常に理事会及び評議員会に出席し、法人の財産状況及び理事の業務執行を監査している。 |
| 2-4 | 評議員会 | 諮問機関としての役割 | <input checked="" type="checkbox"/> 適切に十分な人数を選任している。 学校法人の業務若しくは財産の状況または役員 の業務執行について、適宜、意見を聴き、確認 をしている。 |
| 2-5 | 評議員 | 評議員の選任 | |
| 教学ガバナンス（権限・役割の明確化） | | | |
| 3-1 | 学長 | 学長の責務（役割・職務範囲） | <input checked="" type="checkbox"/> リーダーシップを発揮し、大学教学運営を統括している。 |
| | | 学長補佐体制（副学長・学部長の役割） | <input checked="" type="checkbox"/> 教員組織規程に則り、副学長及び学部長を置き、適切に運営している。 |
| 3-2 | 教授会 | | <input checked="" type="checkbox"/> 各学部教授会規程に則り適切に運営している。 |

ガバナンスコードチェックシート

| 項目 | | チェック | 点検等 |
|-----------------------|------------------|-------------------------------------|---|
| 公共性・信頼性（ステークホルダーとの関係） | | | |
| 4-1 学生に対して | 学部ごとの3つの方針（ポリシー） | <input checked="" type="checkbox"/> | 毎年、各学部において3つの方針について確認している。 |
| 4-2 教職員等に対して | 教職協働 | <input checked="" type="checkbox"/> | 教員と事務職員等は、教育研究活動等の組織的かつ効果的な管理・運営を図るため適切に分担・協力・連携を行っている。 |
| 4-3 社会に対して | 認証評価及び自己点検・評価 | <input checked="" type="checkbox"/> | 毎年、大学の学長室が中心となり、自己点検・評価を行っている。 |
| 4-4 危機管理及び法令遵守に係る取り組み | | <input checked="" type="checkbox"/> | 大学の危機管理委員会のもと、新型コロナウイルス感染拡大防止に務めている。 |
| 透明性の確保（情報公開） | | | |
| 5-1 法令上の情報公開 | | <input checked="" type="checkbox"/> | 適切にWebなどで公開している。 |

特記事項

1. 学校法人聖徳学園ガバナンスコードを作成し、法令遵守に係る取り組みを行っている。

2. 中期的なビジョン策定と具体的な取り組みについて

○岐阜聖徳学園大学学部新設・学部改組構想

短期大学部については、四大化への流れが強い中では、発展的改組の判断が必要と考えられる。令和3年3月の評議員会で意見聴取を行い、その後の理事会で大学学部新設・短期大学部発展的改組等の方向性が承認された。今後の少子化を踏まえ、学部新設等を検討するにあたり、令和3年度から法人本部事務局に経営企画部を設置し、大学との連携を図り進めている。しかし発展的改組等を行うには、引き続き学園の財政的な体力が必要となるため、人件費等の財政見直しを行い、安定した資金確保を継続する必要がある。

○岐阜聖徳学園大学キャンパス統合計画

分散した教育環境や事務組織体制のコンパクト化を図り学生生活の充実や財政の見直しを行う予定であったが、設置校の老朽化に伴う校舎建築計画が持ち上がったことにより、キャンパス統合は断念することとした。

3. 新型コロナウイルス感染拡大防止について、岐阜聖徳学園大学の危機管理委員会の活動指針（レベル別）を基に、授業及び部活動等の活動範囲を制定している。